

アースアキュライザーの活用(15)(HP 収載)

—TANNOYⅢLZ—

1. 始めに

前報(12)までのアースアキュライザー導入の効果を TANNOYⅢLZ で確認します。

2. アースアキュライザーEA-1 の試聴計画

アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、Brooklyn DAC+と仮想アース Crystal E との接続と DA-3000 と自作仮想アースとの接続へのアースアキュライザーの導入と AV ドーナツの使用などを行っています。音源は前報(14)と同様、下記を使用し、それぞれのアースアキュライザーがどのように効いているかを記載します。TANNOYⅢLZ は PX25 シングルアンプで駆動し、前報(13)の AXIOM80 と同様、PX25 の入力の前にある入出力切り替えのパッシブアテネーターの Ex-Pro SV-1 の空き RCA ポートと自作仮想アースの接続に光城精工のアースケーブルを使用しています。

アナログ

EMI AA 9117・C

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

*このアナログ再生は、LINN LP-12 から再生し、ZANDEN Model 120 と Crystal E との接続および Brooklyn DAC+と Crystal E との接続にアースアキュライザーが使用されています。

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

*このアナログ再生は、Garad401 から再生し、Leak Pont1 と共有アースポイントおよび共有アースポイントと Crystal E との接続にアースアキュライザーが使用されています。

CD

Evidence EVCD015

ベートーヴェン チェロソナタ集

フランソワ=フレデリック・ギィ (ピアノ)

グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

*この CD 再生は CD ドライブから読み出し、fidata HFAS1-S10→Brooklyn DAC 経由で再生し、Brooklyn DAC+と Crystal E との接続にアースアキュライ

ザーが使用されています。

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

*この STAGE+再生は PC で再生し、DA-3000 と自作仮想アースとの接続にアースアキュライザーと AV ドーナッツおよび Brooklyn DAC+と Crystal E との接続にアースアキュライザーが使用されています。

3. アースアキュライザーEA-1 の試聴結果

アナログ盤のヘンデルのメサイアは、通奏低音の量感はサイズの無理ですが、古いスピーカーながら、合唱の分離も、ソプラノやバスの歌唱も明瞭です。

アナログ盤のワーグナーのワルキューレは、【Garad401→Leak Point 1→PX25 シングル→TANNOYⅢLZ】という時代があった組み合わせのシステムですが、TANNOYⅢLZ の接続にスピーカーアキュライザーを使用し、さらに一連のアースアキュライザーの効果で、予想外にフレッシュで、オーケストラも歌手の歌唱も鮮明で、TANNOYⅢLZ のサイズの限界を超えたような迫力を見せています。

CD のベートーヴェンのチェロソナタ集は、古いスピーカーとは思えないほど、チェロの質感やボウイングの様子、ピアノの響きが出ています。

STAGE+のベートーヴェンのピアノソナタは、打鍵も余韻も明瞭で、古いスピーカーとは思えないほど、Fabbrini のスケール感が出ています。

4. まとめ

アースの再構成を実施し、上記のとおり、アースアキュライザーの導入と AV ドーナッツの使用などを行ってきた効果が、TANNOYⅢLZ でも認められました。

以上